

錯誤を重ねまた多額の投資も行いました。揚げ句はバブル崩壊にも直面し、大変先の見えにくい時代でした。その中、1993年に現社長体制のもと厳しいこの環境を乗り越えるには何が必要なのかを、必死の思いで模索して決断。見込みのない開発を即刻中止。借入金の積極返済。持ち株は売却。すなわち事業の選択と集中、財務体質の早期改善です。当時、カラオケがブームの頃、当社のマイクがかなりのシェアを獲得することができ、よって売上を伸ばすことができました。そのときに基盤になった商品の品質・技術等がオリンピック関係者に取り入れられ、1996年のアトランタ大会以降当社のプロフェッショナルマイクロホンがオリンピックの收音機材に採用されております。思いきった経営改革および全社員とともに努力を読けた結果1997年の3月期には、5%の経常利益を計上しながら実質無借金経営に到達しております。

その後目指したのは、社員一人ひとりが明るく生きいき働ける企業です。全員経営のつもりで力をあわせれば会社はきっと成功する。そういう意識をみんなにもってもらうことが何より大切と考えて、徹底した社業の方向づけをおこないました。企業はひとりといいますが、今後も社員一人ひとりが希望をもって、各々の個性や能力を十分に発揮できるように人が中心・気持ちが第一の企業運営を力強く推進しています。そして実は、ずっと推進やめずに継続しているのがカートリッジの開発と製造です。デジタル時代の今、アナログのカートリッジは古い技術遺産と見えるかもしれませんが、けれど音楽が人類の創造した文化なら、文化は古いも新しいもなくよいものが選ばれ、時代を超えて生き残ると思うのです。



オーディオテクニカは、世界中のオーディオファン音楽ファンに支えられて半世紀を生きてきました。次の半世紀にはもっと皆様のお役にたてるように時代のニーズを喚起する魅力豊かな商品、社会に貢献できるよりよい商品づくりに努めてまいります。これからもいっそうオーディオテクニカをお引き立てくださるよう、お願い申し上げます。

炉辺会合報告

テーマ 武生ロータリークラブの長期計画について(5年後)
第4班 責任者：高橋俊雄会員 発表者：竹内正美会員
出席者：佐々木会長・竹内直前会長・谷尾会員・杉原会員
玉村会員・瀧見会員・白崎弘康会員

白崎裕二会員 計10名

まず高橋責任者より日本が提案し決まった事項である「決議23-34」の「超我の奉仕」を踏まえた活動が基本であるとお示しを頂いた後、議論に入りました。まず、組織活性化の観点から、出席率向上や会員増強を図ること。また、寄付金額の目標を達成することなど、人や金を計画的に増やす基礎的な活動が一番大切である。一方、現状の問題点として、RCは異業種の集まりであり会長も1年交代となると、方針が1年毎か長期計画かあやふやな部分があるので、はっきり決めてスタートすべきとのお指摘があり、本格的な5年計画を策定するにあたっては、定性的なポリシーと定量的な目標をもった5年の長期展望を策定し、その上で、1年毎の計画をローリングする形態をとることが実現性の観点から必要不可欠である。



具体的手法としては、民間企業の長期計画における方針管理の手法を学んでから実施すべきであり、その策定メンバーも①過去の会長経験者により策定する、あるいは、②各年代層から人選し、そのメンバーから提言を受ける方式などが考えられる、との意見が主流となりました。引き続き、懇親会に入りましたが、その席上において、武生RCのオリジナリティーのある施策を是非実現したいという熱意が充満した、有意義な炉辺会でした。

ニコニコ箱 …… 31,000円

○出席者全員

11月の例会案内

6日 第1例会行事 「老ロータリアンの憂鬱」 三田村久治会員	13日 ロータリー財団月間に因んで ポリオプラス地区委員 福澤幹也氏	20日 ゲスト卓話 福井ミラクルエレファンツ 新谷隆美氏	27日 休 会
---	---	---------------------------------------	------------



2012-2013 RI テーマ
奉仕を通じて平和を

TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

Bridge the Gaps

創 立/1954年(昭和29年)6月30日
 事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
 会 長/佐々木忠彦 幹 事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

第2842回 例会記録 平成24年10月30日(火)

会員総数61名(内出席免除会員8名) 本日出席会員31名
 メークアップ(前々回) 7名
 出席率(前々回補正) 76.36%
 ロータリーソング「奉仕の理想」

会長挨拶 佐々木会長

皆さん今日は。今日は移動例会ということで、「株テクニカフクイ」さんへお邪魔させていただきました。以前、我がクラブも職場訪問ということで、こちらの場所へ訪問させて戴いた事を覚えています。15年以上も前だったと思います。その時もこのホールで説明を聞いた記憶が残っています。今月は職業奉仕月間でもあり、最近では職場訪問を行ってこなかったもので、無理を言って押しかけさせて戴きました。



こちらの工場は開発のみで、生産はしていないと聞いています。新社屋の見学に寄せてもらったと思って下さい。

この新社屋は、創立40周年の記念事業として建てられたものと聞いております。竹中工務店の設計施工で完成し、平成22年10月1日の創立記念日に竣工披露したそうです。

平成22年度の日経ニューオフィス推進賞や照明学会の照明普及賞を受賞したそうです。沢山の団体が見学に来られるそうで、武生商工会議所の会員も見学に来たそうです。我がクラブのメンバーも何人か訪問させてもらったとは聞きました。

少ない時間ですが、面白い設備や海外での生産のお話が聞けると楽しみにしています。例会時間も5分延長して、13時35分までとしました。

こちらの親会社のオーディオ・テクニカさんは1962年創業で、今年で創業50年という節目の年になるそ

うです。ホームページの社長のお話には、苦勞の跡がにじんでいます。カートリッジからスタートしたのですが、CD発売とともに売り上げの変化があったそうです。家庭用すしメーカーなども手掛け、これは我が家にもいただきましたが、ワイヤレスマイクやヘッドホンにも手広く製品の種類を増やしたそうです。その他スピーカーやオーディオケーブルなどもあるそうです。

それらの歴史や製品の流れを説明案内していただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

今日の一言：「金を失うは小さく、名誉を失うは大きい。しかし勇気を失うことは全てを失う。」
 ウィンストン・チャーチル

プログラム

職場訪問例会 玉村委員長



本日は、職業奉仕月間で株テクニカフクイでの職場見学です。ビデオ上映をしたあとに、谷下常務の案内により会社見学を予定しております。宜しく願いします。

(株)テクニカフクイ 谷下常務

当社は、今年で創業50周年を迎えております。創立当初、優れたオーディオ機器、独創的で高性能なピックアップカートリッジをみずから製造しており1970年代の後半には世界最大規模のカートリッジメーカーになっていました。1982年の秋、CDが発売され又その普及により、それから10年間ほどは横這い状態の業績を維持するだけで精いっぱい状況が読みました。この間、大多数のカートリッジメーカーが次つぎ消えていく中であって、危機を回避するために多くの試行

